

上田西 選抜甲子園へ

初戦は3月22日(月)に広島新庄と

千西一週

号外

特別号外
発行 2021年
3月3日(水)
上田西高校
新聞委員会
編集局

編集局長:堀内日菜子
新聞委員長:橋爪ここ菜

林 優衣
金井 楓
辺見 咲良
藤田 珠寿
宮島 純夏
奈良本 梓



1月29日(金)に第93回選抜高等学校野球大会(以下選抜)の出場校選考委員会が開かれ、第143回北信越地区高等学校野球大会準優勝の実績などが評価された本校硬式野球部が北信越地区の代表に選出された。夏の選手権大会には2013年、2015年に出場しているが選抜への出場は創部以来初めて。リモートで行われた組み合わせ抽選会の結果、上田西高校の初戦は3月22日(月)の第3試合14時20分から。対戦相手は中国地区代表の広島新庄高校に決まった。

冬練乗り越え真価問われる春へ

選抜出場決定から約1か月。組み合わせも決まりチームも本番に向け攻守に渡って実戦形式の練習を行う。柳澤樹主将(2年II丸子)は選抜に向けて「投手や守りのミス、メンタルが課題」と話した。

練習試合解禁まで残り僅かとなり冬練の成果が試される。2番手以降の投手確立のため、「個人的にはメンタル面も課題」と話す140km右腕堀内琢斗(2年II青木)は冬練でフォームのトレーニングや下半身の強化を行ったという。左腕高梨匠(1年II東京・浮間)も、「安定感を出し、粘り強く投げられるようになることが課題」と話し、下半身のトレーニングやシャドーピッチングでフォーム固

めを行っている。ひと冬超えた投手陣の奮起に期待がかかる。投手陣を引っ張る捕手の小川隼弥(1年II春富)はリードの考察や周りへの声掛けなどに定評がある。北信越大会準決勝星稜戦では勝ち越し打を放つも、「打撃面が課題」と話す。投手を引っ張る配球や送球とともに打撃力が向上すればチームの総合力にさらに厚みが出てきた。強力打線も強化が進む。吉崎琢朗監督がこの冬で「打撃が

大会展望 新庄の2枚看板 打ち崩せるか

今年度の組み合わせ抽選会は新型コロナウイルスの感染対策のため史上初のオンラインで開催された。15番目にくじを引いた上田西の主将柳澤は上田西の「ウ」を選択。すると番号「24(ニシ)」を引き当て、1回戦の相手は中国地区王者の広島新庄高校に決定した。広島新庄は左

右の2枚看板投手を軸に接戦を守り勝つ野球が持ち味。出場校の中でチーム防御率7位、平均失点5位と守りが堅く、新チームになってからは39連勝中。上田西は、1番笹原操希(2年II裾花)を中心にチームの強

みである強打と機動力を活かし、先制点をあげ主導権を握りたい。守りでは、ミスを出不さないこととエースの山口謙作(2年II神奈川・泉)が試合を作れるかどうか勝負のポイントとなるだろう。広島新庄の大可主将は「星稜に勝っているのでも粘り強いと思う」と上田西の印象をあげ、「新庄らしく足を絡め、僅差で勝ってほしい」と話した。上田西の主将柳澤は「(広島新庄は)自分たちよりも格上な相手」と話し、「チャレンジャーとして思い切って野球をした」と初の選抜への意気込みを語った。(宮島純夏・奈良本梓)

UNity 仲間 挑戦 無限大

気

第93回選抜高等学校野球選手権大会 1回戦

上田西 VS 広島新庄(中国地区代表)

2021年3月22日(月) 14:20 ~ 阪神甲子園球場

制作: 上田西高等学校生徒会広報(清水舞子)

初の選抜甲子園出場をPRするために生徒会によって制作されたポスター 制作=上田西高等学校生徒会広報(清水舞子)

第93回選抜高等学校野球大会 上田西高校ベンチ入り予想メンバー

| | |
|----------|------------|
| 1 山口 謙作 | 2年(神奈川・泉) |
| 2 小川 隼弥 | 1年(春富) |
| 3 杉浦 琉生 | 2年(坂城) |
| 4 飛鳥井 洸 | 2年(神奈川・鶴巻) |
| 5 藤枝 虹凱 | 2年(佐久東) |
| 6 柳澤 樹 | 2年(丸子) |
| 7 大藪 知華 | 1年(丸子) |
| 8 笹原 操希 | 2年(裾花) |
| 9 梅香 拓海 | 2年(日田) |
| 10 堀内 琢斗 | 2年(青木) |
| 11 松村 龍我 | 2年(高陵) |
| 12 石川 智勝 | 2年(愛知・南部) |
| 13 滝沢 善 | 2年(若穂) |
| 14 土岐 菜太 | 2年(神奈川・国府) |
| 15 青木 明憲 | 2年(波田) |
| 16 花岡 瑠伊 | 1年(望月) |
| 17 片平 紫温 | 2年(丸子北) |
| 18 高梨 匠 | 1年(東京・浮間) |
| 部長 矢澤 龍一 | 監督 吉崎 琢朗 |



打撃力とスピードでチームに勢いをつけるリードオフマン笹原操希(2年=裾花)



130km後半のストレートとキレのある変化球が武器のエース山口謙作(2年=神奈川・泉)



勝負強い打撃と堅実な守備でチームをけん引する主将の柳澤樹(2年=丸子)



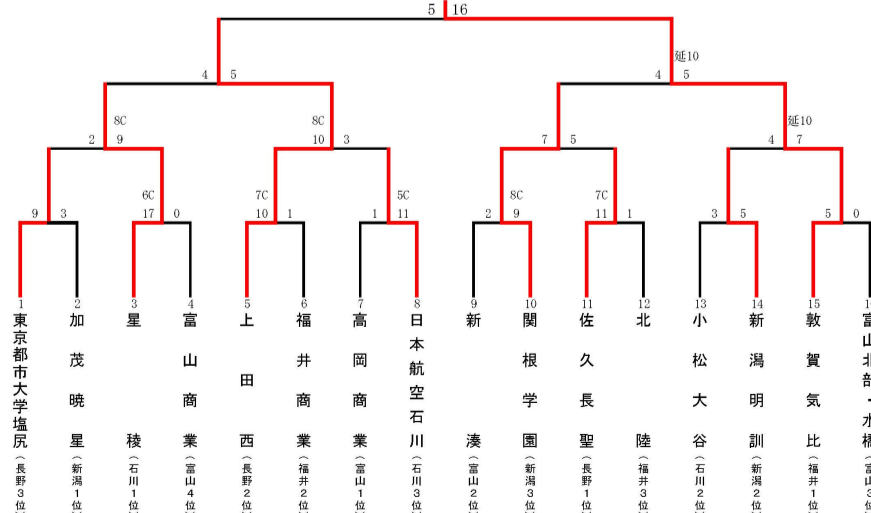
北信越大会準決勝星稜戦で本塁打を放つ飛鳥井洸(2年=神奈川・鶴巻)



北信越大会準決勝星稜戦で勝ち越し打を放った小川隼弥(1年=春富)

第143回 北信越地区高等学校野球大会 (令和2年秋季) 組合せ表

優勝 教賀気比(10季ぶり8回目)



第143回北信越地区高等学校野球大会の結果 引用=長野県高野連ホームページ

写真撮影=櫻林生成

選抜高等学校野球大会
 毎年3月下旬から4月にかけて阪神甲子園球場で行われる高校野球の大会。昨年度は新型コロナウイルスの影響により史上初めて中止。本年度は有観客で開催する準備が進められている。2月23日(火)に史上初めてオンラインで組み合わせ抽選会が行われた。本年度の出場枠は北海道1、東北2、関東・東京6、東海2、北信越2、近畿6、中国・四国5、九州4、21世紀枠4。近年北信越地区では北信越大会の決勝に進出した2校が代表に選出されている。(金井 楓)